

# 県小学生プログラミング

## 福田さん(松山・久枝小6年) V 2

### かんきつ学習アプリ制作



県小学生プログラミング大会で2年連続の最優秀賞を受賞した福田純平さん  
—30日午後、松山市大手町1丁目



県内の小学生が自作のプログラミング作品で競う県小学生プログラミング大会が30日、松山市大手町1丁目の愛媛新聞社であった。同市久枝小学校6年福田純平さん(12)が手がけたかんきつを学べる学習アプリ「みかんアプリ」が最優秀賞に選ばれ、来年3月に東京都である全国大会の出場資格を得た。福田さんの最優秀賞受賞は2年連続。

募集テーマは「みんなの面白い」。出場した8人が3分の持ち時間でプレゼンテーションし、その日の天候に合わせてぴったりの髪形を知ることが出来るゲームや、メダカの餌やりゲームといった作品を披露。審査員は作品の出来や発想力、プレゼン技術などを総合的に評価した。

福田さんはゲームを楽しむだけでなく、かんきつ産業への関心を深めてもらおうと、上級者向けソフト「ユニティ」を用いて前年作ったアプリを改良。ミカンを選果するゲームのほか、出荷までの工程を学べるアニメも制作した。前年の審査員の助言を踏まえイラストをやめ本物のミカンの画像を用いるなど、リアリティーにこだわった。

福田さんは「前回の全国大会では、レベルの高いプログラミング技術を持った人がたくさんいて悔しい思いをした。今年はバージョンアップして愛媛のミカンを広めたいという思いで取り組んだ。次こそ上位入賞したい」と意気込んだ。

県大会は、2021年から開き4回目。今年は愛媛新聞社が主催、愛媛大のデジタル情報人材育成機構と工学部が共催した。(森口睦月)